



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月10日

上場会社名 株式会社ティーガイア
 コード番号 3738 URL <http://www.t-gaia.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 木村 政昭
 (氏名) 俣野 通宏

TEL 03-6409-1010

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	155,516	12.0	3,021	△7.2	3,005	△6.9	1,630	6.2
23年3月期第1四半期	138,812	2.6	3,254	△21.5	3,229	△20.9	1,534	△32.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3,651.41	3,649.26
23年3月期第1四半期	2,995.33	2,993.68

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	136,823	23,136	16.9
23年3月期	153,808	35,640	23.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 23,136百万円 23年3月期 35,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2,750.00	—	2,750.00	5,500.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3,250.00	—	3,250.00	6,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	315,000	9.8	6,350	△6.8	6,250	△7.4	3,350	△3.8	7,949.33
通期	660,000	10.9	14,650	0.9	14,400	0.0	7,850	3.9	18,627.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	512,419 株	23年3月期	512,419 株
24年3月期1Q	91,000 株	23年3月期	— 株
24年3月期1Q	446,419 株	23年3月期1Q	512,395 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成23年4月～6月)におけるわが国経済は、アジアを中心とする新興国の経済成長に伴い一部に持ち直しの動きが見られたものの、東日本大震災および福島原発事故に伴う電力供給懸念の影響等による企業の生産活動や設備投資、個人消費の低迷に加え、円高や厳しい雇用環境が続く等、先行きは不透明な状況で推移しました。

まず、当社の主な事業分野である携帯電話販売市場においては、引き続き需要が好調であったスマートフォンを中心に、販売は順調に推移いたしました。

このような事業環境下、当社はモバイル事業において、スマートフォンやデータ通信端末の拡販およびサービス廃止が予定されている旧規格対応端末から新規格対応端末への切り替え需要の取り込み等に注力した結果、販売台数は前年同期に比べ増加いたしました。

しかしながら、採算性の低い廉価端末・非音声系商材の販売増加や市場競争の激化に伴う値引き施策の拡大に加え、スマートフォン拡販に向けた販売体制強化等で費用が増加した結果、営業利益は減少いたしました。

次に、ネットワーク事業においては、代理店網強化や他社とのアライアンス推進、周辺商材販売等の営業施策により、売上高および営業利益は増加いたしました。

最後に、プリペイド決済サービス事業他では、大手コンビニエンスストア販路でのPIN(Personal Identification Number)販売システムを用いた電子マネー系商材の販売が好調に推移した結果、売上高および営業利益は増加いたしました。

この結果、当第1四半期(平成23年4月～6月)における業績は、売上高1,555億16百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益30億21百万円(前年同期比7.2%減)、経常利益30億5百万円(前年同期比6.9%減)となりました。なお、前年同期に計上した「資産除去債務に関する会計基準」の適用初年度にかかる特別損失4億円が、当第1四半期(平成23年4月～6月)には発生していないこと等により、四半期純利益は16億30百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(モバイル事業)

当第1四半期(平成23年4月～6月)につきましては、新製品の相次ぐ導入等により需要が好調であったスマートフォンやデータカード、デジタルフォトフレーム等のデータ通信端末の販売に加え、サービス廃止が予定されている旧規格対応端末から新規格対応端末への切り替え需要の取り込み等に注力いたしました。加えて、法人営業の更なる強化等に努めた結果、携帯電話販売台数は144万台(前年同期比11.6%増)、スマートフォンの販売比率は3割強となり、売上高は1,251億55百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

しかしながら、採算性の低い廉価端末・非音声系商材の販売が増加したことや市場競争の激化に伴う値引き施策の拡大に加え、需要が本格化しつつあるスマートフォンの販売体制強化による費用増加等により、営業利益については、19億49百万円(前年同期比19.3%減)となりました。

(ネットワーク事業)

当第1四半期(平成23年4月～6月)につきましては、これまで取り組んできた代理店網の強化や他社とのアライアンス推進、周辺商材販売等の営業施策により、売上高は58億21百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は7億87百万円(前年同期比23.9%増)となりました。

(プリペイド決済サービス事業他)

当第1四半期(平成23年4月～6月)につきましては、ネット通販やSNS(Social Networking Service)上のコンテンツ購入時における決済手段としての利用が増加したこと等により、PIN販売システムを用いた電子マネー系商材の販売が好調に推移した結果、売上高は245億39百万円(前年同期比44.5%増)、営業利益は2億84百万円(前年同期比40.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ12.2%減少し、1,194億79百万円となりました。これは、商品が39億69百万円増加し、売掛金が175億60百万円、未収入金が27億39百万円それぞれ減少したことによります。

固定資産は、前事業年度末に比べ2.3%減少し、173億44百万円となりました。これは、のれんが3億79百万円減少したことによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ11.0%減少し1,368億23百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ14.2%減少し、979億95百万円となりました。これは、買掛金が69億54百万

円、短期借入金が27億円、未払金が34億53百万円、未払法人税等が26億59百万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べ299.6%増加し、156億91百万円となりました。これは、長期借入金が117億76百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ3.8%減少し、1,136億87百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ35.1%減少し、231億36百万円となりました。これは、四半期純利益16億30百万円、剰余金の配当14億9百万円によるもの及び自己株式の取得により127億40百万円減少したことによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に公表いたしました第2四半期累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

当第1四半期業績の、平成23年5月12日に公表いたしました通期業績予想に対する進捗率は、売上高23.6%、営業利益20.6%、経常利益20.9%、四半期純利益20.8%で推移しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,304	1,789
売掛金	76,291	58,730
商品	37,690	41,660
貯蔵品	101	93
前渡金	1	4
前払費用	487	518
繰延税金資産	1,329	730
未収入金	18,576	15,836
その他	285	127
貸倒引当金	△14	△12
流動資産合計	136,055	119,479
固定資産		
有形固定資産	3,151	2,970
無形固定資産		
のれん	7,305	6,925
電話加入権	16	16
借地権	26	26
ソフトウェア	624	634
無形固定資産合計	7,973	7,603
投資その他の資産		
投資有価証券	332	357
関係会社株式	200	200
長期貸付金	47	40
破産更生債権等	41	42
長期前払費用	19	16
繰延税金資産	1,389	1,432
敷金	4,045	4,113
建設協力金	325	309
その他	275	309
貸倒引当金	△49	△50
投資その他の資産合計	6,628	6,770
固定資産合計	17,752	17,344
資産合計	153,808	136,823

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	65,081	58,126
短期借入金	15,600	12,900
1年内返済予定の長期借入金	3,352	3,442
未払金	24,793	21,340
未払費用	184	102
未払法人税等	3,501	842
預り金	135	486
前受収益	39	38
賞与引当金	1,271	528
短期解約損失引当金	150	99
災害損失引当金	129	78
その他	1	10
流動負債合計	114,240	97,995
固定負債		
長期借入金	1,740	13,516
長期未払金	20	20
退職給付引当金	438	437
資産除去債務	1,016	1,021
その他	711	696
固定負債合計	3,927	15,691
負債合計	118,167	113,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,098	3,098
資本剰余金	5,585	5,585
利益剰余金	26,898	27,119
自己株式	—	△12,740
株主資本合計	35,583	23,064
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	57	71
評価・換算差額等合計	57	71
純資産合計	35,640	23,136
負債純資産合計	153,808	136,823

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	138,812	155,516
売上原価	124,238	140,761
売上総利益	14,574	14,754
販売費及び一般管理費	11,319	11,733
営業利益	3,254	3,021
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	1	2
受取家賃	1	0
受取保険料	16	19
その他	7	5
営業外収益合計	27	30
営業外費用		
支払利息	51	44
その他	0	1
営業外費用合計	52	45
経常利益	3,229	3,005
特別利益		
貸倒引当金戻入額	29	—
固定資産売却益	11	—
見舞金収入	—	9
その他	—	1
特別利益合計	41	10
特別損失		
固定資産除却損	5	12
固定資産売却損	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	400	—
特別損失合計	407	12
税引前四半期純利益	2,863	3,004
法人税、住民税及び事業税	831	827
法人税等調整額	497	546
法人税等合計	1,328	1,374
四半期純利益	1,534	1,630

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	モバイル事業	ネットワーク事業	プリペイド 決済サービス事業他	
売上高	116,205	5,627	16,980	138,812
セグメント利益 (営業利益)	2,415	635	202	3,254

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額と四半期損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	モバイル事業	ネットワーク事業	プリペイド 決済サービス事業他	
売上高	125,155	5,821	24,539	155,516
セグメント利益 (営業利益)	1,949	787	284	3,021

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額と四半期損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
自己株式の取得

平成23年2月28日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。これを受け、公開買付けの方法により当第1四半期会計期間において普通株式91,000株、総額12,740百万円の自己株式を取得いたしました。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。